

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	960 駐車場事業	会計	07	駐車場事業特別会計
		款	01	駐車場事業費
		項	01	駐車場事業費
基本 施策	66 文化・スポーツ施設などの公共施設を利用しやすくする	目	01	駐車場事業費
		細目	517	駐車場事業費
行革大綱の重点事項番号		細々目	01	駐車場事業費
担当部課名	コード	40600		担当者氏名
	名称	企画財政部管財課		
		連絡先	22 - 9610 (内線) 2332	

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	市民、観光客	※対象件数
成果(どうする)	車両交通の円滑化、JR駅利用者の利便性向上及び観光振興による地域活性化を図る	
根拠法令・要綱等	地方自治法244条の2、伊賀市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例、伊賀市駐車場条例	
開始年度	平成 18 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H23 事業 内容	1. 施設の経常経費の管理 2. 施設の指定管理者との施設管理の調整 3. 施設の営繕 4. 駐車場用地の借り上げ ※管理駐車場…市庁舎駐車場、白鳳門駐車場、上野公園駐車場、東大手門駐車場、だんじり会館駐車場、城北駐車場、伊賀上野駅駐車場、佐那具駅駐車場	
社会情勢の 変化等	市民等が安心して利用できる駐車場として、受託者を指導すると共に新たな駐車場の確保又は、駐車場不足を解消するため、観光シーズンには平日、城北駐車場を一時的に開放する必要がある。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

運営主体	
1 (委託先)	[]
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H22	H23	H24	H25
駐車場利用台数	台	目標	105,000	100,000	96,000	92,000
		実績	95,421	96,351		
駐車場管理業務委託料(駐車場指定管理料)	千円	目標	17,748	17,551	17,083	16,483
		実績	17,493	17,544		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H22	H23	H24	H25
駐車台数回転率(駐車台数/駐車可能台数)	%	各駐車場の利用形態が違うので駐車台数回転率を指標とすることは問題はあるが、成果を測るため必要とする。	目標	64.0	64.0	62.0	62.0
			実績	61.0	59.0		
月極利用台数	台	JR駅利用者の利便性の向上を図る指標として月極利用台数とする。	目標	40	40	35	35
			実績	26	22		

投入コスト	H22 決算		H23 決算		H24 当初予算		H25 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計 (A)	43,292	43,438	44,021	43,420				
Aの財源内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	43,292	43,438	44,021	43,420				
事業投入人件費 (B)	0.5人 3,600	0.5人 3,600	0.5人 3,600	0.5人 3,600				
フルコスト (A)+(B)	46,892	47,038	47,621	47,020				

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	【必1】法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	【必2】個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	【必3】特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	【必4】市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	【必5】市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	【必6】市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	【必7】民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	【必8】受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	【必9】市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業	
	【必10】事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	【必11】国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	【必12】事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【必13】【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
有効性	【有1】事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
	【有2】基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。	
	【有3】サービス水準や対象を見直す余地がある。	
達成度	【達1】当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	【達2】予算の繰越の有無 無 安定した収入を見込める月極利用者が減少している。 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
効率性	【効1】他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	【効2】基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】	
	【効3】受益者負担を求めることができる事業である。	○
	【効4】全体コストにおける負担構成は適正である。	○
	【効5】コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	シルバー人材センターへの駐車場業務委託内容の見直しを行うとともに、24時間自動精算機の導入や市有地有償貸付による民間委託等を検討し、経費削減を図る。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 運営時間、業務内容及び収益率向上を検討する資料として、営業時間内の利用状況調査を実施(調査期間:H23. 12. 1 ~H24. 6. 30) その調査結果に基づき、シルバー人材センターへの管理委託を見直す資料とすることができた。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	宮崎 寿
事業の方向性	【方向性】 手法改善 【理由】 駐車場事業全体では収益を計上しているが、個別では損失を計上している駐車場があることから、全駐車場でも収益を計上できるよう運営手法を改善する必要がある。
現時点における課題、その他	事業全体では、20,422千円の収益を計上しているが、駐車場別に見ると伊賀上野駅駐車場が約50万円の損失となっている。この損失計上している駐車場の運営手法を見直す必要がある。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	伊賀上野駅駐車場について、有人管理時間を利用者が少なくなる17時以降を切り上げ2時間短縮することで、シルバー人材センターへの管理委託料を削減し、収益率の改善を図る。